

透析室の環境改善 －動線と物品配置の見直し－

荒 深 景 子 堀 千 華 柴 田 夢 来 若 山 直 樹
渡 邊 貴 大 吉 田 美 香 奥 田 里 香 守 山 洋 司

【はじめに】

透析室で働くスタッフの多くが、透析室内での動線に不便さを感じていた。これは、スタッフの作業効率低下や患者の転倒などのリスクにも繋がることから、透析室内の動線と物品配置を見直す取り組みを行った。その結果、返血から環境整備までの所要時間において、時間短縮が得られた。

【方 法】

問題解決型QCストーリーに沿って活動を展開した。現状の動線の問題点を洗い出し、備品・物品の配置変更を中心に対策を検討し、実施後の効果を確認した。評価は、返血から環境整備までの所要時間の比較とした。

【結 果】

現状調査では、患者・スタッフの動線を描き、所要時間を測定した。その結果、透析室内のメイン通路には、作業をするうえで必要な物品が多くあり、動線が集中していた。特に返血時がスタッフと患者の交わりが多かった。

目標を、動線の見直しによりスタッフの動きがスムーズになり、「返血からベッドの環境整備が終了するまでの時間を患者1人あたり3分短縮させる」とした。

要因分析で動線に不便さを感じる要因を挙げ、共通した問題に対する対策を「効果」「実

現性」「コスト」「リスク」の4点から評価し立案した。

実施計画に沿って、(1)メイン通路の妨げとなっていた物品の配置換えを行い、患者・スタッフの動線の交わりを最小限にした。(2)車椅子介助中でも患者・スタッフの動きを妨げないベッド配置にし、作業効率の向上を図った。

5人の対象者において、対策実施前後で、返血から環境整備が終了するまでの時間を測定し比較した。その結果、患者1人あたり平均4分11秒の短縮となり、目標を達成した。また、患者・スタッフ・出入りの業者から「通りやすい」との好評を得られた。

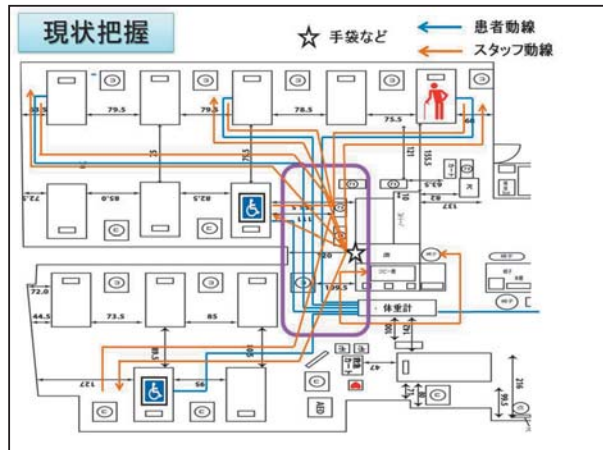
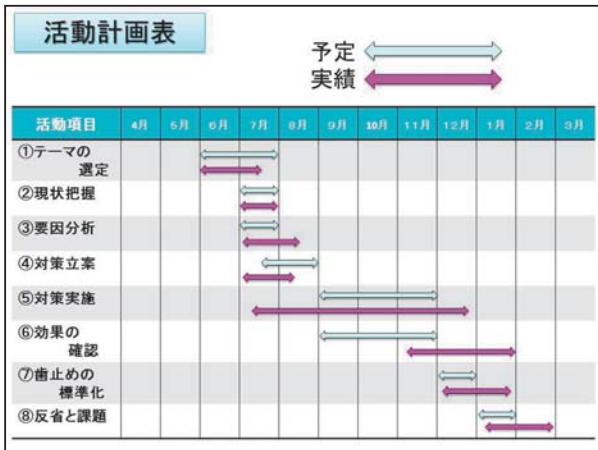
【ま と め】

不便と感じながらも変えられなかった動線と物品配置を見直すことで、作業効率の向上が図れた。今後想定される患者の入れ替わりや物品の増減に対しても、定期的な見直しや変更を行っていく必要がある。



テーマの選定
透析室スタッフ全員に透析室の気になる所をアンケート
◎=5点 ○=3点 △=1点

テーマ	重要性	緊急度	実現度	効果	評価
①透析室全体の動線が不便 ・スタッフの仕事の効率低下 ・患者にも転倒などのリスクあり	◎	◎	○	◎	375
②詰所内に必要なもの、不要なもの、用途不明なものが多い	○	△	○	◎	45
③ベッドの間隔が狭い ・介助がしにくい ・患者も出にくい	◎	○	△	○	45
④薬品棚、処置台、物品棚の配置が悪い	○	△	△	○	9
⑤体重計で通路が狭くなっている	○	△	△	◎	15

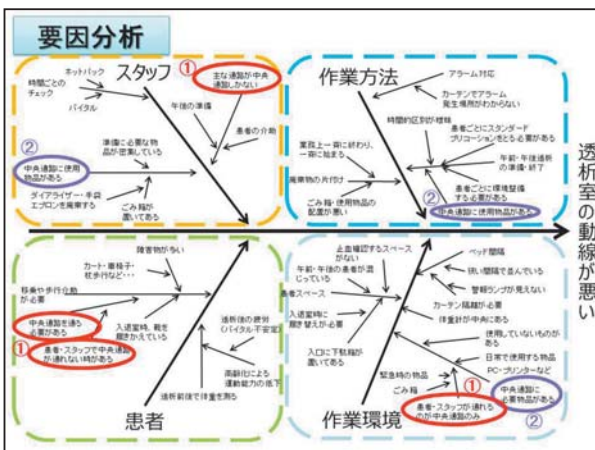




目標設定

返血から環境整備終了までの時間が
今までは**平均10分**かかっていた。
動線を見直すことで...

-3分 短縮させる。

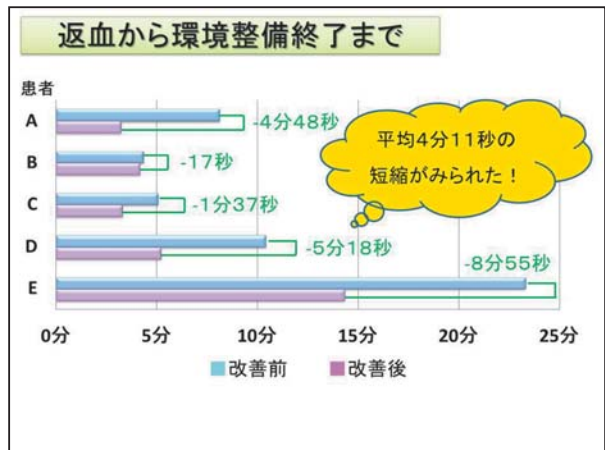


対策の立案

◎:5点 ○:3点 △:1点
上位から順に取り組む

	効果	実現性	コスト	リスク	評価点	
① 患者・スタッフ共に中央通路を必ず通す	中央通路にあるごみ箱の位置の見直し	ごみ箱の位置の変更	◎	◎	◎	625
	患者スタッフの通りを分離させる	ベッド・棚材の配置変更	○	○	◎	135
② 中央通路に使用物品がある	物品の定位置の見直し	返血から環境整備までに必要な物品の場所の変更	○	◎	◎	375
	中央通路を遮らなくなるような扉の上の動線の見直し	プリンター・ラベル機の場所の変更	◎	△	○	45

対策実施計画			
項目	なぜ	何を	どうする
ごみ箱の位置を変える	中央通路が狭くなるため スタッフが集まるのを防ぐため	ごみ箱の位置を	移動させる
返血から環境整備までに 必要物品の場所の変更	必要な物品が同一場所にあり スタッフが1ヵ所に集まるのを防ぐため	必要物品を	適材適所に 移動する
ベッド・機材の配置を 変える	介助必要な患者が中央通路を 通らなければならない 限られた範囲で配置を変えるため	患者のADLに合わせた ベッドと機材の配置	適所に 移動・変更する
プリンター・ラベル発行機の 場所を変える	作業効率が悪い 密集する場所に配置してあるため	プリンター・ラベル 発行機を	パソコンの近くに 移動させる



改善後の皆さんの御意見

通やすくなったね。

作業中、後ろを気にせず処置できた。患者もスムーズに後ろを通っていける。

広くなりましたね。通やすくなりました。



歯止めと標準化

- 必要物品が決められた場所にあるか業務開始時・終了時に確認する。
- 改善場所に不要な物が置かれていないか定期的に確認する。

反省と課題

- 他職種が多い部署のため、情報共有や改善点の周知がスムーズにできなかった。
- 今後も患者の入れ替わり・物品の増減が想定されるため定期的な見直しや変更が必要である。



